

# 山口県感染症発生週報 (第15週:平成24年4月9日～4月15日)

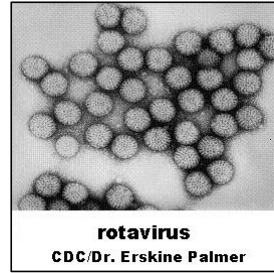
## 1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第11週追加:1例(柳井)。第13週追加:3例(岩国、周南、長門)。第14週追加:2例(下関、長門)。第15週:2例(下関、周南)。

【4類感染症】

◆レジオネラ症: 第14週追加:1例(下関)。



## 2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者報告数はほぼ横ばい状態で推移しています。萩は再び注意報レベルとなりました。迅速検査では、A型陽性45例、B型陽性93例、臨床診断13例で、B型がA型を上回っています。また当所で、第13～14週の検体についてPCR検査を行った結果、B型が3例検出されています。【注意報レベル=萩(新)】※

◆感染性胃腸炎: 周南、山口、萩は他地域と比較して多くみられ、周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(5週目)】※

◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルが続いています。山口は今週急増しています。【警報レベル=周南(13週目)】※

◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(19週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/ivoho/report2011/keihotvuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	13週	14週	15週	疾患名	13週	14週	15週
インフルエンザ	175	135	151	百日咳	1	0	3
RSウイルス感染症	42	29	21	ヘルパンギーナ	4	2	4
咽頭結膜熱	6	7	14	流行性耳下腺炎	42	52	38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	94	98	112	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	532	460	599	流行性角結膜炎	2	5	1
水痘	68	74	72	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	0	2	0	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	18	16	28	マイコプラズマ肺炎	15	3	3
突発性発しん	27	29	31	無菌性髄膜炎	1	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	31	43	3	13	3	14	8	2	34	151
RSウイルス感染症	5	1	2	0	1	2	9	0	1	21
咽頭結膜熱	4	1	0	2	1	2	0	4	0	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	9	3	37	6	6	10	4	9	112
感染性胃腸炎	88	59	9	200	22	77	94	20	30	599
水痘	20	7	3	16	5	9	12	0	0	72
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	19	1	7	1	0	0	28
突発性発しん	8	1	0	7	3	3	7	0	2	31
百日咳	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
流行性耳下腺炎	15	0	4	2	2	0	0	15	0	38
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告がさらに増加し、かなり多い状況です。例年4月頃に多くなっていますので、引き続き注意が必要です。